

DOCX 形式、2023 年まで延期

筆者：アロン・グリフィス (*Aron Griffith*)

米国特許商標庁 (USPTO) は、「所要の」DOCX 形式での出願書類提出の関連規定の施行を 2023 年 1 月 1 日まで延期すると決定しました。USPTO は 2020 年 8 月に、出願書類を DOCX 形式以外で提出した場合の特許出願の料金を含んだ最終規定を公表しました。当初、当該新たな料金は、2022 年 1 月 1 日より発効されると予定されていましたが、2021 年 11 月 22 日に公開された連邦官報 (<https://www.federalregister.gov/documents/2021/11/22/2021-25368/setting-and-adjusting-patent-fees-during-fiscal-year-2020>) によると、この料金の発効日は、一年延期されています。

延期の理由は、追加テスト及びトレーニングです。当該通知において記載されたように、「より多くの利用者が DOCX 形式で出願書類を提出するため、今回の遅延により、USPTO は、その情報技術システムの強化テストを提供することが可能となります。また、今回の遅延によって、出願人は DOCX 形式での特許出願書類提出への調整にもっと時間が与えられます。更に、当該料金の次の発効日の前に、USPTO は、出願人に、DOCX 形式で特許出願書類を提出するための追加テスト機会を提供することを予定しています。．．． USPTO はまた、USPTO が開催している多数の DOCX 研修会にまだ参加していない出願人に、参加することを推奨しています」。

以前に報告しましたように、弊所は DOCX 形式での出願書類提出のための準備が整いました（弊所 [6月ニュースレター](#)参照）。弊所は USPTO の DOCX 研修会を受けており、現在既に DOCX 形式で出願書類を提出しています。けれども、追加テスト及びトレーニングが提供されれば、それらを利用して活用します。